



今月の写真

P2 常議員会・通常議員総会

P4 特集 第3期アクションプランを紹介

一宮市のロケ地紹介
妙興寺

平成28年1~2月にフィリピン国営放送で放送された「Halo Halo House ~ホセのニッポン・ダイアリー」(1話30分・全8話)は、一宮市を舞台とする日本紹介ドラマとして撮影されました。



一宮の企業紹介

コンセプト・インターナショナル 株式会社 ～強みはガラス線のハーネス加工～

「取引先のニーズに対応することでここまで来たのだから、今後もそのニーズに応じていきたい」と話すのは、伝法寺にあるコンセプト・インターナショナル株式会社の代表者である広明達雄さん。広明さんに創業から現在までの事業変遷、今後の展望などについてお話を伺いました。

■頻りに訪れていた愛知県で新たに会社を設立

富山県出身の広明さん。富山県中新川郡立山町で父親が営んでいた広明製作所の後を継ぎ 1988年1月に法人化(株式会社広明電子)。その後、バブル崩壊のあおりを受け、富山県から営業活動のため市場規模の大きい愛知県に頻りに訪れていたこともあり、2003年1月に愛知県内で新たにコンセプト・インターナショナル株式会社を設立。同年7月から現在地である伝法寺で事業を営み現在に至ります。

会社設立から1年半ほどは仕事がない状態でしたが、ひょんなことから産業機器の製造メーカーと知り合う機会があり受注を獲得。信頼を勝ち取ると、それ以後は紹介や口コミで順調に取引先を増やし、現在では46社と取引が行われているとのこと。



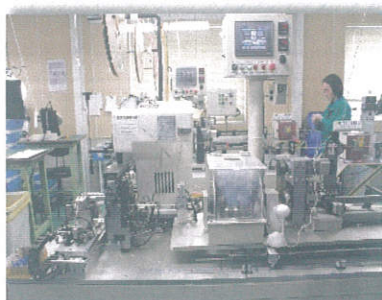
▲ 代表者: 広明達雄さん

■試行錯誤を重ねガラス線のハーネス加工に着手

基盤接続用・電動工具用のワイヤーハーネスの製造から圧着・電線加工、合理的な設備システムの提案などのほか、5年前よりある会社からの依頼がきっかけでガラス線のハーネス加工も行っています。ガラス線は一般的に使用されているビニール線よりも耐熱性に優れているのが特徴で、発展途上国のホテル、レストラン、コンビニエンス

ストア、会社関係などで使用されており今後も受注量が増えることが予想されています。

依頼を受けた5年前、同社にはガラス線のハーネス加工のノウハウがなく設備もありませんでした。



▲ ガラス線のハーネス加工機

たが、関連会社とともに機械の開発に着手。3年間試行錯誤を重ねガラス線のハーネス加工ができる機械を完成させると、現在はその機械を4台に増設するなど同社の主力商品になるだけでなく、同社以外にガラス線のハーネス加工を行える会社が国内でも数社しかないため大きな強みを得ることとなりました。

また、関連会社とともに大手製菓会社が製造するリップクリームの自動組立機を製造し、いままで20人で行っていた作業が1人で行えるよ



▲ 同社が製造するハーネス

うにするなど取引先の合理化にも寄与しています。

■取引先の合理化に寄与していく

ももとは機械メーカーになりたかったのですが、その夢は一旦封印。今後も取引先のニーズや困りごとに対応し、取引先の合理化(人材不足の解消、生産性の向上)に寄与する商品の提案をしていきたいと意気込んでおられます。

代表者: 広明達雄 創業: 2003年
住所: 一宮市伝法寺 2-14-10
TEL: (0586)81-5583
業種: 電子部品製造

Q 同社の名前の由来と一宮商工会議所との関わりについて教えてください。

A グローバル社会を視野に入れた国際的な概念を持たなければならないという思いから名付けました。

商工会議所には会社設立時より入会し、設備貸与制度の利用の際にも活用いたしました。